

米国発表報道資料意識

アドビシステムズ社、Adobe Flex 2.0 のパブリックベータ版を デベロッパコミュニティ向けに発表

**Flex Enterprise Services 2.0 と無償のソフトウェア開発キットを追加し、
リッチインターネットアプリケーションの開発環境を一新**

【2006年2月3日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2006年2月1日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は、本日、最先端のリッチインターネットアプリケーション※（RIA）を構築する Adobe® Flex™ 2.0 製品群および Adobe® Flash® Player 8.5 のパブリックベータ版の提供を開始すると発表しました。世界中のデベロッパは、これらの製品を利用することで、次世代の Web 環境を構築できます。そして、企業や組織は、新たに構築される Web 環境により、さまざまな顧客とのより効果的な関係構築が実現できるばかりでなく、生産性や業績を向上させることが可能になります。

※リッチインターネットアプリケーションとは、インターネットのコンテンツにインタラクティブ性を持たせることによって、ユーザとのコミュニケーションの充実を図る新しいインターネットアプリケーションの総称です。

Cynergy Systems 社のバイスプレジデントである Dave Wolf（デイヴ ウルフ）氏は、「当社は過去 10 年にわたり、D-HTML や AJAX など、さまざまな仕様や実装方法を使ったリッチインターネットアプリケーションを開発してきましたが、常にデベロッパの生産性を優先させるか、ユーザの扱いやすさを優先させるか、いずれかの選択肢を選ばなければなりませんでした。Flex 2.0 と Flash Player 8.5 の登場により、妥協をすることなく、お客様が希望するアプリケーションを提供できるようになりました。これこそが Web 2.0 の世界です」と述べています。

Flex 2.0 製品群は、デベロッパに、強力かつ拡張性の高いアプリケーションフレームワークと、直感的なプログラミングモデル、規格に準拠したデータ統合、アプリケーション開発と UI デザインが行うことができる Eclipse ベースの IDE（Integrated Development Environment：統合開発環境）を提供します。Flex 2.0 には、豊富なコンポーネントライブラリと先進のデータ統合や、標準的なバックエンドサーバのインフラサポートが提供され、インタラクティブ性を持たせたシンプルな Web サイトから、豊富なデータを取り扱うダッシュボードやポータルサイト、さらにデータ連携型のエンタープライズアプリケーションにいたるまで、あらゆるリッチインターネットアプリケーションを開発することが可能となります。

アドビシステムズ社エンタープライズアンドデベロッパソリューション BU のシニアバイスプレジデントである David Mendels（デビッド メンデルス）は、「アドビシステムズは、インタラクティブ性を持たせた Web サイトから、ミッションクリティカルなビジネスアプリケーションにいたるまで、あらゆるデベロッパが魅力のあるリッチインターネットアプリケーションを構築するために必要な全てのツールやサーバ製品を提供したいと考えています。パブリックアルファ版の Flex 2.0 製品群には高い評価が寄せられており、デベロッパの皆様が今回のパブリックベータ版で追加された新機能をどのように活用してくれるのか、非常に楽しみにしています」と述べています。

Adobe Flex 2.0 パブリックベータ版で提供されるコンポーネント

- Flash Player 8.5
使い勝手に優れた Web 環境を実現する最新の高性能クライアント実行環境
- Flex Framework 2.0
Flex のコアとなるプログラミングモデルとコンポーネントライブラリ
- Flex Builder 2.0
Flex Framework を活用してリッチインターネットアプリケーションを構築するために Eclipse ベースで開発された IDE
- Flex Enterprise Services 2.0
企業のサービス指向型インフラと統合され、強力なデータ連携型のリッチインターネットアプリケーションを提供するために必要なデータサービス、およびオープンな相互通信を可能とするアダプターアーキテクチャ
- Flex Charting Components 2.0
高度なデータを視覚化する、拡張可能なコンポーネント群

Adobe Flex 2.0 製品群および Adobe Flash Player 8.5 のパブリックベータ版は、Adobe Labs (アドビラボ) の Web サイト (<http://labs.adobe.com>) からダウンロードできます。

出荷時期と価格

Adobe Flex 2.0 製品群は、2006 年前半に提供開始予定です。アドビシステムズ社では、すべてのアプリケーションデベロッパが Flex 開発に携わることができるように、新しいライセンスモデルを導入します。Flex 2.0 製品群の最終的な価格およびライセンス形態は、製品版発売開始時に発表します。

Flex Framework は、Flex ソフトウェア開発キットに無償で同梱される予定です。なお、このキットには、コマンドライン型コンパイラおよび XML や SOAP といった Web サービスにアクセスできる Flex アプリケーションの開発からコンパイル、実装時に必要な資料一式が、追加の費用やサーバライセンスなしで提供されます。

Flex Builder 2.0 は 1,000 米ドル以下で提供される予定であり、リッチインターネットアプリケーションを構築するために必要となる、優れたビジュアルデザインとインテリジェントなコード編集、デバッグ機能、自動テスト機能が提供されます。

Flex Enterprise Services 2.0 は、クラスタリングされていない単独で動作するサーバ上で、同時アクセスユーザが一定数以下であれば、無償で利用することができます。また、CPU 単位、プロジェクト単位、企業単位で Flex Enterprise Services 2.0 のライセンスを取得することも可能です。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> に掲載されています。